

国保運営協議会

制度の安定運営に向け議論

2月21日、国民健康保険運営協議会（八橋博会長）が複合庁舎くずま〜るで開催され、国保特別会計と病院事業会計の令和6年度予算と、国民健康保険税の税率改正について話し合われました。

国民健康保険は平成30年度に都道府県化され、県が運営の中心的な役割を担い、将来的には県内統一の国保税率を目指すこととされています。それに伴い町では一般会計からの繰り入れは削減し、国保財政調整基金を取り崩して税率を据え置き、加入者の負担を抑えてきました。しかしながらこのままでは基金が枯渇してしまうため、安定的に国民健康保険を運営し必要な医療の提供を維持するために、保険税の見直しが必要な状況となっています。

会議では、町から現在の検討状況などについて報告が行われ、委員からは税率改正による影響や将来的な被保険者数減少との関連性などについて質疑が行われました。

今後、町では具体的な税率についての検討や議論を重ね、令和7年度からの保険税の改正に向けて取り組みを進めていきます。



国民健康保険運営協議会の様子

第3回町総合計画審議会

重点施策の優先度を議論



活発に意見交換をする委員の皆さん

第3回町総合計画審議会（広田純一会長）は2月8日、複合庁舎くずま〜るで開催され委員13人が出席しました。

今回の会議では、これまでの総合戦略に掲げる数値目標および重要業績評価指標（KPI）などの分析を踏まえ、後期計画における新規事業や重点施策の優先度などについて議論が行われました。

委員の皆さんは活発に意見を交わし、最重要課題である人口減少対策として優先される施策には、結婚支援や空き家などを活用した住まいの確保、また安定した雇用の創出、町の魅力の情報発信などを挙げていました。

委員の鈴木智さん（小屋瀬）は「正解のない難しい話し合いだったが、出されたアイデアが一つでも多く実現すると良い」と期待を込め、広田会長（岩手大学名誉教授）は「計画に掲げたことにまず着手し、目標に向けて動き出せるよう努力することが大切」と話していました。審議会で出された意見や施策などは、総合計画後期計画に反映される予定で、3月に鈴木重男町長に答申します。

表彰受賞者の皆さん（敬称略）

■葛巻町長表彰（産業経済優秀賞）

中村大地（橋場）
岩泉 篤（寺田）
㈱Peace Valley Dalry（八幡勝幸代表、星野）

■葛巻町産業振興協議会長表彰

《優良農家等表彰》

▶優良生乳生産者
藤森康隆（浦子内）、星野俊博（星野）、大川原利宣（江刈）
落宰 勝（小屋瀬）、大上孝宏（寺田）

▶年間平均最高乳価生産者

藤森康隆（浦子内）

▶乳量増加生産者

㈱GRFホルスタインズ（折元大樹代表、遠矢場）
遠藤 優（星野）、栗畑恵一（栗山）

▶和牛子牛最高販売額生産者

馬淵 修（田野）、瀧渡正幸（吉ヶ沢）

▶山ぶどう栽培優良生産者

荒谷 重（小田）

▶葉たばこ栽培優良生産者

栗谷川清美（星野）、鹿島久義（元木）

《野菜共進会入賞者表彰（金賞受賞者）》

▶ほうれんそう

小屋畑雄太（四日市）

▶はくさい

橋場廣美（小田）

《花き共進会入賞者表彰（金賞受賞者）》

▶りんどう

亀山勇子（星野）

《造林・育林・間伐共進会入賞者表彰（最優秀受賞者）》

▶造林の部

大平正二（江刈馬淵）

《第12回新積み・新づくりコンテスト入賞者表彰》

▶最優秀賞

寺田自治会青年部

《商工部門表彰（優良商工業者）》

▶くずまき商品券の年間取扱高（上位）

㈱とりい、(有)上遠野工務店、㈱近誠

▶くずまき商品券の年間取扱高伸び率（上位）

(有)上遠野工務店、久多良建設、コンドウデンキ

▶ニコちゃんポイントの年間ポイント発行高（上位）

スーパーみうら、(有)上遠野工務店、㈱近誠、

(一社)葛巻町畜産開発公社

▶ニコちゃんポイントの年間ポイント発行高伸び率（上位）

久多良建設、チバククリーニング、(有)葛巻自動車整備工場、

(有)鍋金商店

▶快適な住まいづくり応援事業実績（上位）

(有)上遠野工務店、久多良建設、福井塗装、(有)江田建築

《各種紹介》

▶県農業農村指導士新規認定者

折元大樹（遠矢場）

▶新規就業者

《就農》 外山秋翔（上外川）

《就業》 関 悠翔（田野）、藤森裕一（江刈）

藤森穂奈弥（江刈）

▶新規創業者

清水野削蹄所 清水野義人（車門）



◁あいさつを述べる鈴木重男町長▽表彰受賞者の皆さん



町産業振興協議会（会長、鈴木重男町長）主催の令和5年度葛巻町産業振興大会は2月13日、グリーンセンターで開催され、農林業や商工業の関係者約100人が出席しました。鈴木町長は「農林商工が一体となることが本来の産業振興の姿であり、共にまちづくりを進めていきましよう」とあいさつしました。大会では優良農家のほか林業、商工業の各分野で顕著な功績があった皆さんが表彰されました。また、新

たに県から認定を受けた農業農村指導士や新規就業者、創業者の皆さんが紹介されました。昨年1月に清水野削蹄所を創業した清水野義人さん（車門）は「削蹄師が不足する地域なので、農家の皆さんの支えになっていきたい」と抱負を述べました。記念講演では公益社団法人岩手県看護協会の相馬一二三会長（本町出身）が「つなぐ・支える・活かす」と題して講演を行いました。相馬さんは看護師として患者から学んだこと



▷講師の相馬一二三さん▽講演に聞き入る参加者の皆さん



や担い手が不足する看護の現場などを説明。「熱意が人を動かし、つながりを作ります。出会いは財産です」と語り、参加者は真剣に耳を傾けていました。

令和5年度葛巻町産業振興大会 農林商工一体のまちづくりを目指す

児童の成長を支えて きこえ・ことばの教室40周年

昭和57年に開設された葛巻小学校「きこえ・ことばの教室」が40周年を迎え、2月17日に同校体育館で関係者約60人が出席し、記念式典と講演会が開催されました。

同教室は、きこえや発語について心配のある子どもたちを個別に指導するもので、開設以来420人以上の児童の成長を支えてきました。式典実行委員長の竹川隼人さんは「教室の意義を再確認し、今後も長く受け継いでいきたいと思います」とあいさつ。その後、教室の発展に尽力した親の会の歴代会長である林義明さん（城内小路）、六角幸司さん（田子）、下天戸浩さん（四日市）に表彰状が贈られました。



式典と講演会に出席した皆さん

講演する川村みや子医師

記念講演では、講師の川村みや子医師（みちのく療育園副施設長）が発達特性のある子どもとの関わり方を紹介。「子どもの好ましい行動に注目し、褒めるときは目線を合わせて子どもの具体的な行動を褒めてあげること」と助言していました。